

エゴン・シーレ 死と乙女 (2016)

EGON SCHIELE: TOD UND MÄDCHEN
EGON SCHIELE: DEATH AND THE MAIDEN

メディア 映画

ジャンル ドラマ 伝記 アート

製作国 オーストリア／ルクセンブルク

色彩 Color

時間 109分

初公開日 2017/01/28

公開情報 アルバトロス・フィルム

映倫 R15+

【キャッチコピー】

愛も、命さえも、この絵に捧げて――

【解説】

20世紀前半のウィーンを舞台に、スキャンダラスな裸体画で時代の寵児となった天才画家エゴン・シーレの28年という短くも波乱に富んだ生涯を、彼のヌードモデルを務めた女性たちとの関係に焦点を当てて描き出した伝記ドラマ。主演はモデル出身で本作が本格映画デビューとなる新人、ノア・ザーヴェトラ。監督は俳優出身で監督作はこれが日本初紹介となるディーター・ベルナー。

1910年。せっかく合格したウィーン美術アカデミーを早々に退学したシーレは、16歳の妹ゲルティをモデルにした裸体画で頭角を現わしていく。そんな中、友人から褐色の肌のヌードモデル、モアを紹介されると、そのエキゾチックな魅力の虜となり、彼女をモデルに裸体画を製作、一躍脚光を浴びる。その一方で、モデルの座を奪われたゲルティは嫉妬を募らせていく。1911年。尊敬するグスタフ・クリムトのアトリエを訪れたシーレは、そこで赤毛のモデル、ヴァリを紹介される。やがて2人がノイレングバッハで同棲生活を始めると、ヴァリはシーレの運命のミューズとして、彼の芸術活動を公私にわたって全身全霊で支えていくのだったが…。

【クレジット】

監督	ディーター・ベルナー	Dieter Berner	
製作	フランツ・ノヴォトニー アレクサンダー・グレーア バディ・ミンク アレクサンダー・ドウムライヒャー＝イ ヴァンチャヌ	Franz Novotny Alexander Glehr Bady Minck Alexander Dumreicher-Ivanceanu	
製作総指揮	ヨハンナ・シェルツ	Johanna Scherz	
脚本	ヒルデ・ベルガー ディーター・ベルナー	Hilde Berger Dieter Berner	
撮影	カーステン・ティーレ	Carsten Thiele	
プロダクション デザイン	ゲッツ・ヴァイドナー	Gotz Weidner	
衣装デザイン	ウリ・ジモン	Uli Simon	
編集	ロバート・ヘンシェル	Robert Hentschel	
音楽	アンドレ・ジェジユク	André Dziezuk	
出演	ノア・ザーヴェトラ	Noah Saavedra	エゴン・シーレ

マレジ・リークナー	Maresi Riegner	ゲルティ・シーレ
ヴァレリー・パフナー	Valerie Pachner	ヴァリ・ノイツェル
ラリッサ・アイミー・ブライトバッフ	Larissa Aimee Breidbach	モア・マンドゥ
マリー・ユンク	Marie Jung	エディット・ハルムス
エリザベト・ウムラウフト	Elisabeth Umlauf	アデーレ・ハルムス
トーマス・シューベルト	Thomas Schubert	アントン・ベシユカ
ダニエル・シュトレサー	Daniel Strasser	ドム・オーゼン
コルネリオス・オボニャ	Cornelius Obonya	グスタフ・クリムト